

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報
平成30年度第2四半期（平成30年7月～9月）

1. 治安情勢

- 7月2日、マハーラーシュトラ州ドゥーレ地区において、複数の村人にリンチされて5人が死亡する事件が発生した。同村では、数日前から「よそ者の人さらいが村を徘徊している」という噂がSNSで拡散されており、同日観光バスで同村を訪れた5人が村の少女に話し掛けるのを目撃した村人が5人を集団リンチして殺害した。
- 7月30日、公務員職における16パーセント保護枠を求めるグループが、ムンバイ市に隣接するプネ市の中心地から40キロ離れたチャカンにおいて騒乱を引き起こし、車両約100台を破壊し、警察官8名が負傷した。警察は、催涙弾を使用して暴徒を鎮圧した。
- 9月7日、マディアプラディッシュ州において、30人を殺害した男が逮捕された。男は、ギャングと連携して主にトラックドライバーを標的とし、ドライバーと親密になり食事に誘い、睡眠薬を飲ませて眠らせた後に殺害して積み荷を転売していた。
- 9月23日、マディアプラディッシュ州警察は、偽の2000ルピー札40枚を所持していたグループを摘発した。偽札はバングラディッシュから持ち込まれたものとみられ、本物と区別が付きにくい非常に精巧なものであった。

2. 邦人に係る一般犯罪情勢

殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

- ア 殺人
邦人被害の事件は認知していない。
- イ 強盗
邦人被害の事件は認知していない。
- ウ 強姦
邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情

良好である。

6. 犯罪発生状況

ムンバイ市警察本部は、2018年1月1日から9月31日までに認知した犯罪件数について統計を発表した。主な犯罪の認知件数は以下のとおり。

○ 殺人	125件	（前年同時期対比	-27件）
○ 強盗	728件	（同	-72件）
○ 傷害	3,859件	（同	+423件）
○ 恐喝	172件	（同	-89件）

○ 強姦	651件 (同)	+126件)
○ 窃盗	8,725件 (同)	-143件)
○ チェーン・		
スナッチング(※)	112件 (同)	-24件)

(※) 女性が首等に身につけている貴金属をひったくる犯罪

特徴としては、強姦をはじめとする性犯罪の伸びが顕著であり、特に強姦は一昨年
から引き続き増加傾向が続いている。その他障害についても10%強の増加が見られ
る。

直近で邦人に対する被害はなかったが、本年1月に、ゴア州を旅行中であった29
歳の男性が、ビーチ付近でインド人らしき男に声を掛けられ親しくなり、一緒にカフ
ェに行ったところ、そこで提供されたコーヒーを飲んで昏睡し、気がついた時には一
緒に入店した男とともに旅券等の貴重品が入った小袋が無くなっていたという被害
が発生した。同種の事件は過去にも多数発生している。特に、観光名所ではガイドを
名乗る者が外国人に親しげに近づいてきて睡眠薬強盗を働いたり、女性に対して性的
暴行を働くケースも散見されることから、見ず知らずの者の誘いには絶対に乗らない
ことが肝要である。